

# 時代を駆けるII 吉田得子日記戦後編1946-1974

一代の日記から読み解く戦後史——女性の暮しと生き方

2018年6月中旬出来



編=女性の日記から学ぶ会  
編集責任=島利栄子・西村榮雄  
発行=みずのわ出版

税込 3,240 円

日記の筆者吉田得子(1891-1974)は岡山県邑久町で生まれ、ここで一生を終えた。西大寺高等女学校を卒業後、教師になった。その後結婚し一子を産み育てながら教職を続けるも昭和4年退職。夫とともに当時はやり始めていたラジオ販売の仕事始める。昭和という時代はラジオと共にあったというが、まさに商売繁盛で得子も地域のリーダー的存在になっていく。そして終戦を迎え、婦人会長、村会議員となり、戦後の女性の社会進出の先頭に立つ。

問合せ先

みずのわ出版

〒742-2806  
山口県大島郡周防大島町  
西安下庄 2845

FAX  
0820-77-1739

E-mail  
mizunowa@osk2.3web.ne.jp



2018年5月刊

## 堀江芳介壬午軍乱日記

明治15年(1882)朝鮮で起きた壬午軍乱、  
公使の護衛にあたった軍人による貴重な行動記録

参謀本部管東局長の職にあった編者の祖父堀江芳介(1843-1902)は、明治15年8月2日新橋駅から汽車で横浜に行き、玄海丸に乗船、神戸、下関に寄港した後、8月12日朝鮮西岸の月尾島に上陸。現地では、高島少将の下で花房公使の護衛に当たったが、8月30日に済物浦条約が結ばれて事件は解決し、9月20日に任務を終え帰国した。堀江の日記は、その間の行動を記録したものである。

編=西村榮雄/発行=みずのわ出版 税込 4,320 円

番線印・帖合	時代を駆けるII 吉田得子日記戦後編 1946-1974 ISBN978-4-86426-036-7 本体 3,000 円+税	部
	堀江芳介壬午軍乱日記 ISBN978-4-86426-035-0 本体 4,000 円+税	部
	宮本常一コレクションガイド ISBN978-4-86426-031-2 本体 1,500 円+税	部

ご注文は地方小出版流通センター までお願いします

FAX 03-3235-6182

発行：みずのわ出版